

## APNG

## Asia Pacific Networking Group

## アジア太平洋における商用・学術研究両ネットワークに関する組織。インターネット関連の数々の組織を生み出している

APNGは、アジア太平洋におけるインターネット関連の団体としては最も古い。APNGの初期の名称はAPCCIRNであっ



Jump [www.apng.org](http://www.apng.org)

## 問い合わせ先

APNG

E-mail [apng-sec@apng.org](mailto:apng-sec@apng.org)

た。APはアジア太平洋を意味する。CCIRNというのは、Coordinating Committee for Intercontinental Research Networkingという会議のことである。国際的なCCIRNにアジア太平洋で対応していたのが当時のAPCCIRNの役割であった。のちにRが研究を意味するのは範囲が狭いということでAPNGという名称に変更した。

APNGは多くの組織を生み出している。APNICはAPNGのパイロットプロジェクトであった。APPLe (Asia Pacific Policy and Legal group)はAPNGのBoFに端を発している。さらにAPIA (Asia Pacific Internet Association) は APNGの

Commercial WGを母体として発足した。国際会議のAPRICOTは、APNG、APNIC、APNG Commercial WGのメンバーが中心となって運営している。最近ではICANNの活動に呼応するAPTLD (Asia Pacific Top Level Domain Forum)を誕生させた。

APNGのiDNS(多言語ドメイン名)WGは、IETFにおけるIDN WGの発足を目標として活動し、その目的を達成した。APNGは年に2回の会合を開いている。最近ではNGをNext Generationと読み替えて、アジア太平洋地域の次の時代を担う若手メンバーの活性化に力を注いでいる。ここ数年間のAPNGの運営費用はAPNICからの支援によるところが大きい。APNICは親孝行な息子(娘)ともいふべき存在である。

(後藤滋樹 早稲田大学理工学部教授/APNG前議長)

## APIA

## Asia &amp; Pacific Internet Association

## アジア・太平洋地域でインターネットに関連するビジネスを営む企業・団体・個人によるインターネット業界団体

1997年に創設され、現在は法人25会員、個人15会員を有す。創設会員として、NTT、シスコ、アセンド、C&Wホンコンテレコム、韓国PSIネット。ほかに、Level3、インターネット戦略研究所(RIIS)、インターネット協会(IAJapan)、アジア太平洋地域のIPアドレス割り振り・割り当てを行っているAPNICなどが会員となっている。

Jump [www.apia.org](http://www.apia.org)

## 問い合わせ先

APIA

E-mail [info@apia.org](mailto:info@apia.org)

主な活動としては、インターネットビジネスに関連する政策課題を取り上げ、これまでに国際接続料金問題、ドメインネーム問題、インターネットY2K問題などで活発に問題を先取りし、解決へ向けて世界を動かしてきた。

APRICOTの開催も積極的に支援、協力するなど、アジア各国の協調、各団体同士の協力関係構築にも積極的である。また、定期的にニュースレターを発行し、APNIC関連の記事も掲載するなど、コミュニティでの情報交流も牽引している。2001年には、インターネット上のコンテンツに関する自主規制問題についての調査・研究を行った。その結果を受け、クアラ

ンプールで開催されたAPRICOTで報告会を行い、自主規制の重要性をレポートした。元・前会長、前事務局長がICANN創設前からその活動に深く関わっており、アジア太平洋地域からの意見を世界に反映させる努力をしている。

現在、会長と財務には高橋徹(IAJapan/RIIS)が、Ole Jacobsen氏、Kyoko Day氏が理事に就いている。なお、韓国インターネット協会のKilnam Chon氏とPacific Broad Band Summitを計画している。事務局長はKyoko Day氏が兼ねている。

最近の企画はIXに関するAP地域のフォーラムの開設をバンコクのAPRICOT2002の際に行い、これを継続する。セキュリティ、IPv6のAP地域のフォーラム開設にも貢献しようとしている。

(高橋徹 株式会社インターネット戦略研究所/APIA会長)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)